

【SR-9 定性的システマティックレビュー】

CQ	5	<i>BRCA</i> 病的バリエーション陽性進行・再発乳癌患者の薬物療法として、PARP阻害薬は推奨されるか？
P	<i>BRCA</i> 病的バリエーション陽性進行・再発乳癌	
I	PARP阻害薬（単剤）	
C	化学療法（単剤）	
臨床的文脈	<p>O1：両群でOSに有意な差は認めなかった。</p> <p>O2：PARP阻害薬によりPFSの有意な改善を認めたが、リスク差は有意ではなかった。</p> <p>O3-1：PARP阻害薬（単剤）では化学療法（単剤）に比べてGrade 3以上の貧血が有意に多かった。</p> <p>O3-2：PARP阻害薬（単剤）では化学療法（単剤）に比べてGrade 3以上の好中球減少が有意に少なかった。</p> <p>O3-3：両群でFebrile neutropeniaに有意な差は認めなかった。</p> <p>O4：PARP阻害薬（単剤）では化学療法（単剤）に比べてGlobal health status/Quality of Lifeが良好であった。</p>	

01	OS
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	非一貫性は認めなかった。
コメント	サンプル数が少なく、不精確性は「-1」と判断した。

02	PFS
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	非一貫性は認めなかった。
コメント	サンプル数が少なく、不精確性は「-1」と判断した。

03-1	Anemia G3 or more
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	非一貫性は認めなかった。
コメント	サンプル数が少なく、不精確性は「-1」と判断した。

03-2	Neutropenia G3 or more
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	非一貫性は認めなかった。
コメント	サンプル数が少なく、不精確性は「-1」と判断した。

03-3	Febrile neutropenia
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	非一貫性は認めなかった。
コメント	サンプル数が少なく、不精確性は「-1」と判断した。

04	Global health status/Quality of Life
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	非一貫性は認めなかった。
コメント	サンプル数が少なく、不精確性は「-1」と判断した。

【SR-9 定性的システマティックレビュー】

CQ	5	BRCA1/2遺伝子変異陽性進行・再発乳癌患者の薬物療法として、PARP阻害薬は推奨されるか？
P	BRCA1/2遺伝子変異陽性進行・再発乳癌	
I	PARP阻害薬（化学療法併用）	
C	化学療法	
臨床的文脈	<p>O1：PARP阻害薬併用化学療法によりOSが改善する傾向が見られたが、統計学的に有意ではなかった。</p> <p>O2：PARP阻害薬併用化学療法によりPFSの有意な改善を認めた。</p> <p>O3-1：両群でGrade 3以上の貧血に有意な差はなかった。</p> <p>O3-2：両群でGrade 3以上の好中球減少に有意な差はなかった。</p> <p>O3-3：両群でFebrile neutropeniaに有意な差は認めなかった。</p>	

01	OS
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	非一貫性は認めなかった。
コメント	特になし。

02	PFS
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	非一貫性は認めなかった。
コメント	特になし。

03-1	Anemia G3 or more
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	非一貫性は認めなかった。
コメント	特になし。

03-2	Neutropenia G3 or more
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	非一貫性は認めなかった。
コメント	特になし。

03-3	Febrile neutropenia
非直接性のまとめ	非直接性は認めなかった。
バイアスリスクのまとめ	選択バイアス等の点から、バイアスリスクは「-1」と判断した。
非一貫性その他のまとめ	RRの信頼区間の重なりはあるが、各試験RRは1の両側にあり、非一貫性は「-1」と判断した。
コメント	RRの信頼区間は広く、不精確性は「-1」と判断した。